

## 一般社団法人日本森林学会 2016（平成28）年度事業計画

- (1) 「日本森林学会誌」の発行 2016年4月、6月、8月、10月、12月および2017年2月の年6回発行し、科学技術振興機構のJ-STAGEで公開する。
- (2) 「Journal of Forest Research」の発行 出版社の変更に伴い、Springer社から2016年4月、6月、8月、10月、12月の5回発行する。Taylor & Francis社から2017年2月に第1号を発行する。
- (3) 「森林科学」の発行 2016年6月、10月および2017年2月の年3回の発行を行う。オンラインバックナンバーについて、J-Stageでの公開に向けて、ELSからデータ移行をし、環境を整える。
- (4) 「日本森林学会メールマガジン」の発行 第70号（2016年3月）～第81号（2017年2月）を発行する。
- (5) ウェブサイトの更新 ウェブサイト更新を随時行い、出版物・表彰・公募などの関連情報の最新情報を掲載する。
- (6) 第127回日本森林学会大会の開催 2016年3月27～30日に神奈川県藤沢市（日本大学生物資源科学部）において「第127回日本森林学会大会」を開催し、「第127回日本森林学会学術講演集」を発行する。
- (7) 第128回日本森林学会大会の準備 「第128回日本森林学会大会」（鹿児島大学）の開催を準備する。また、ウェブ登録システムによる大会発表申し込み等の受付をウェブサイト上で行う。
- (8) 第129回日本森林学会大会の準備 応用森林学会からの推薦に基づいて大会開催機関を決定し、大会運営委員長を委嘱し、大会運営委員会を組織する。
- (9) 日本森林学会各賞の選考および日本農学賞等への学会推薦 日本森林学会賞、日本森林学会奨励賞、日本森林学会学生奨励賞、日本森林学会功績賞、Journal of Forest Research論文賞、日本森林学会誌論文賞、第127回日本森林学会大会学生ポスター賞の選考、および日本農学賞、日本農学進歩賞等への推薦を行う。
- (10) 学会活動の活性化 会員拡大、ウェブサイトやメールマガジン等による広報活動、および連携学会・他学会・外部機関との連携強化を通じて、学会活動の活性化に努める。
- (11) 男女共同参画の取り組み 第128回日本森林学会大会における男女共同参画事業を企画し、準備を進める。男女共同参画学協会連絡会の活動に参加して、情報交換に努め、学会のウェブサイトやメールマガジンを通して情報提供に努める。また、2015年度に実施したワークショップについての成果をとりまとめ、その報告を行う。
- (12) JABEE（日本技術者教育認定機構）への協力 JAFEE（森林・自然環境技術者教育会）の基幹的な学会として、JABEEやJAFEEの活動・運営に協力するとともに、関連学協会との連携を図ることにより、森林分野の技術者教育の向上を進める。CPD（技術者継続教育）事業の推進に協力する。森林・林業人材育成のため、引き続き森林・林業技術者教育の動向について発信するとともにJABEEの普及に努める。
- (13) 連携学会（旧支部）との連携 各連携学会（北方森林学会、東北森林科学会、関東森林学会、中部森林学会、応用森林学会、九州森林学会）大会を共催し、役員を派遣する。
- (14) 日本木材学会との連携 「日本森林学会と日本木材学会との交流に関する覚書」に従い、

木材学会と交流を深める。

**(15) 公開シンポジウムの開催** 第 127 回日本森林学会大会におけるシンポジウムの記録を公開する。第 128 回日本森林学会大会における公開シンポジウムの準備を進める。

**(16) 国際学术交流の推進** 東アジアをはじめとする諸外国の関係学会と交流を進める。

**(17) 関連学協会への協力と社会連携の推進** 日本学術会議および日本農学会の運営に協力する。社会連携委員会を通じて、当学会に関する情報発信や、関連学協会との協力を推進する。

**(18) 国内研究機関連携の推進** 国内研究機関間の研究情報交換の実態把握のために、森林学会の会員動向調査を続ける。国内研究機関、特に地方研究機関の意識調査を行う。

**(19) 各種補助金の申請** 科学研究費補助金（研究成果公開促進費）「国際情報発信強化」への応募を継続する。また「研究成果公开发表（B）」は応用森林学会に発案を依頼し、日本森林学会として応募する。第 128 回日本森林学会大会公開シンポジウムへの助成金に応募する。

**(20) 他機関等の賞、奨励金、助成金、公募等の広報および候補の推薦** ウェブサイト、メールマガジン等により公募し、候補者を推薦する。

**(21) 学会運営の改善** 財政の健全化への取組を継続し、電子メールを活用し、会議費や通信費を節減する。

**(22) 林業遺産の選定** 2016 年度日本森林学会総会において、2015 年度に選定された林業遺産を発表する。本年度の林業遺産候補の推薦公募を行い、審議・選定活動を行う。林業遺産の活用をテーマとするシンポジウム等の開催を検討する。

**(23) 中等教育との連携** 第 127 回日本森林学会大会において高校生のポスター発表を実施し、良かった点や課題等整理をする。実施体制、活動内容についても、再検討する。第 128 回大会における高校生ポスター発表の実現に向けて活動する。

**(24) 代議員および理事・監事候補選挙** 2016 年度定時総会において理事および監事を選任する。

**(25) 一般社団法人としての対応** 改選に伴い、理事および監事を修正登記する。